

岩倉政治 (小説家。明治二十六年二月四日富山縣生れ(一九三二)。
 筆名巖木勝。縣立福野農學校を經て、昭和七年大谷大學哲學科卒。教
 員、會社員など。日本戰劇的無神論者同盟、日本プロレタリア文化聯
 盟(略稱コツパ)、唯物論研究會に參加。うち檢舉せられ轉向と、戰
 後再轉向し、日本民主主義文藝同盟、日本平和委員會等に加盟。

- 著書『日本宗教史講話』(巖木勝名、再版。昭和十年七月、千八百白
 揚社)、『佛敎論』(同、昭和十二年四月千五百ニ書房「唯物論全
 書」)、『新しき道義』(第一部・流
 域)、『昭和十八年八月、千五百河
 出書房)、『村長日記』(昭和十六
 年七月十日中央公論社)、『田園の
 詩人達』(昭和十七年五月、千五百
 六興商會出版部)、『ヤロンの鳴』
 (昭和十八年一月十五日蟹養出版協
 會)、『藥草園』(昭和十八年二月、千五百青木書店)、『草のほの
 會』(昭和十九年五月十日日本雄辯會講談社「日本小説新書」)、『行
 者道宗』(昭和十九年九月、千五百大阪・増進堂)、『麥』(昭和二十
 一年四月、千五百新紀元社)、『龍樹』
 (昭和二十二年八月、百京都・百華
 苑)、『黎明(農民小説傑作選)』(合
 著、昭和二十二年七月十五日、赤坂書
 店)、『大洋歌集』(昭和二十二年四
 月、千八百六興出版部)、『田螺の』



六四 (新版・昭和四十八年七月二十日東京出版)等。